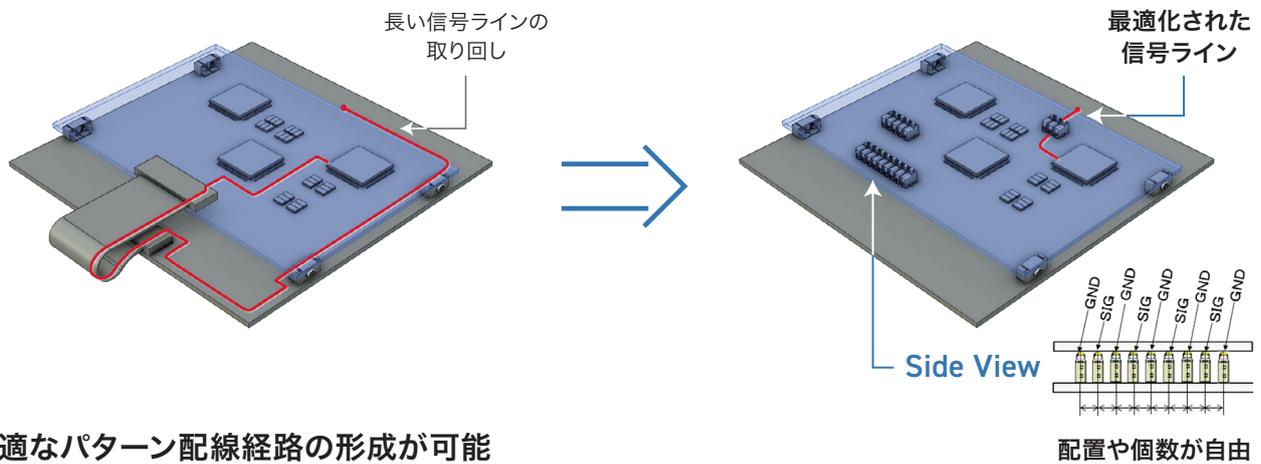


Reflow RFスプリングコンタクト

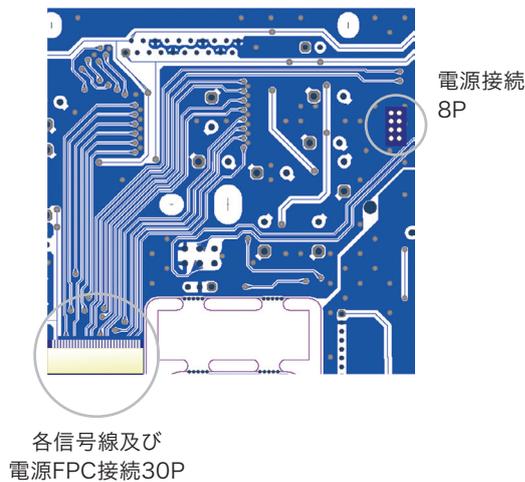
- SMARXの**新提案**：基板間を接続するコネクタからSMARXスプリングコンタクトへの置き換え
- 信号パターン配線経路の設計自由度が大幅にアップ



- **最適なパターン配線経路の形成が可能**

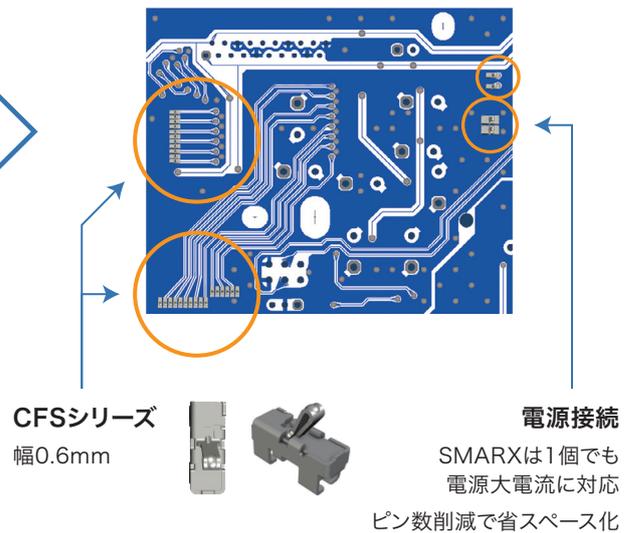
一体化されているコネクタでは、個々の信号、グラウンドの位置が制限されるが、SMARX コンタクトを使用すれば、接続位置やパターン配線経路長等、最適化が可能。

FPC コネクタ接続や B to B コネクタ接続



SMARXコンタクトによる接続

高密度実装が実現可能
基板サイズ縮小



- 信号の伝送損失の最小化が可能
- 高速伝送における遅延の最小化や調整が可能
- コンタクト間隔設定による、特性インピーダンス調整が可能
- SPS (Short Pass Structure：短縮接点構造) により、グラウンドのインピーダンスが低減
- 電源接続で使用する事でピン数を削減でき省スペース化

現在、実証実験機による測定及び検証中です。検証データはテクノロジーニュースでお伝えします。